



「トライやる」通信

第4号

2019年 5月27日(月)～31日(金)

トライやる・ウィーク準備中！！



平成31年 2月 8日
伊丹市立天王寺川中学校
1年生 トライやる担当

現在、希望調査をもとに、事業所決定に向けて調整中です。本日、学年集会で説明した内容を裏面に掲載しています。各家庭においても話し合ってください。できる限り、一人ひとりの希望が叶うように決定していきたいと思います。例えば第1希望ではなくても、納得して決めた事業所ではいい経験ができるはずです。

また、職業講話や調べ学習など、さまざまな取り組みをしています。学んだことをしっかり身につけ、あいさつ・清掃・授業態度・提出物など、ふだんの学校生活の中に活かしましょう。委員長会中心に、自分たちで日々の生活を改善しようという動きが始まったことは頼もしいです。

第2回 職業講話 1/22 6校時
講師：白井建材代表取締役 白井良夫 氏
演題「トライやる・ウィークに向けて」



生徒感想
より一部抜粋

《印象に残ったこと》
・あいさつが第一印象
・質問はたくさんする
・掃除は大切
・5日間は社員として頑張る
・普段からトライやるに備える

はじめに白井さんとあいさつしたとき、半分くらいの方があいさつしてなかったんじゃないかなと思うくらい小さくてダルそうな声でした。やり直しても大して変わらず70点で、これはいけないと思いました。事業所でお世話になるときは、中学2年生の気持ちとか心構えとかではダメだと思います。仕事は遊びではないので、「やる気がないなら帰れば」ってことになります。折角の貴重な体験を将来にも日々の生活にも役立てたいです。そのためにも、白井さんが言われた『あいさつ』『掃除』『言われたことを理解する』という3つのことをもっとできるようにしたいです。

白井建材さんでは、長年、市内のたくさんの中学生を受け入れていただいています。事業所の立場で、こんな活動にしてほしいという想いを語っていただきました。

認知症サポーター養成講座 1/29 5校時
講師：
天神川・荻野地域包括支援センターより3名
伊丹市介護保険課 田中課長 橋本主任
認知症地域支援推進委員 田中さん



目的：認知症の疾患と、患者の気持ちを理解して対応を学び、自分が暮らす地域の高齢者や認知症の人への理解につなげる機会とする。
(「トライやる」で施設体験ができます)

今まで認知症という言葉は、あまりなじみがなかったけど、4人に1人になる病気だと知って誰でもなる可能性があると思いました。寸劇のように、もし認知症で困っている方がいたら「驚かせない」「急がせない」「気持ちや思いを傷つけない」「否定しない」を守って接したいと思いました。

生徒感想
より一部抜粋

認知症の人が、どんな気持ちで日々を暮らしているか、実際認知症の方と会ったときには、どうすればいいかなどためになることが多かった。身内の誰がいつ、そうなるかもわからない。これからいろんな仕事がAIなどによってなくなると言われているけど、こういう人と接する仕事これからも残っていくと思った。

《今後のおもな予定》

- 2 / 8 (金) 5校時 職業講話 講師：マーズ・インターナショナル
演題「仕事の楽しさ・厳しさ」 松本吉史氏・吉田荘太郎氏
- 12 (火) 進路学習 (おもに高校入試について)
- 16 (土) オープンスクール *要弁当 午後：1・2年進路説明会
(その後トライやる・ウィークの説明もあります)
- 18 (月) 代休
- 19 (火) 調べ学習 クラス発表
- 22 (金) 調べ学習 学年発表
- 3 / 1 (金) ①～⑤ 学年末テスト
 - ①国語 ②数学 ③社会 ④理科 ⑤英語 (⑥総合)
 - ・1日で5教科 ・試験時間は各50分
 - ・事前の課題やテスト勉強など、今から計画的に取り組もう！
(3年生は、2/9・10私立入試、2/15公立推薦入試、3/12公立一般入試など)

保護者の皆様へ
ぜひお越しください！